

茨城こども新聞 特別版



ひたちなか市立 東石川小学校



- ◆校長 安島 孝博
- ◆児童数 460人
- ◆創立 1940年
- ◆住所 ひたちなか市東石川1の1の1

みんな仲良し



1年生と東石川幼稚園児の交流イベント「秋のおもちゃランド」。

園児と触れ合い成長

1年生は、保幼小接続の一環として、隣接する市立東石川幼稚園と交流活動を行っています。昨年12月には、落ち葉や秋の木の実で作ったおもちゃで遊ぶ「秋のおもちゃランド」に招待しました。

「自分が楽しむ」から「幼稚園生に楽しんでもらう」を意識することで、試行錯誤が生まれます。「簡単すぎるのも、難しすぎるのもダメ」「レベルを選べるようにすると楽しいよ」など、ルールを工夫したり、おもちゃを改良したりと、園児の立場になって対話的・探求的な学びが始まりました。

当日は、園児と一緒に楽しく遊び、「たくさん遊んでくれてうれしかった」「上手に説明できてよかった」と笑顔の子どもたち。年下の園児と触れ合うことで、「できた」という自信をもち、自分自身の成長への気付きにつなげることができました。今後も主体的な学びの姿勢を育てていきたいです。

(1学年主任 柏静香)

学校マスコット「ひが丸くん」



みんな学校です!



東石川フェスティバルの企画「たたみコースター作り」に取り組んだ児童たち。2021年10月30日

全校児童で楽しむフェス

私の小学校は、JR勝田駅の近くにあり、昨年度80周年を迎えた、歴史ある学校です。毎年秋に、東石川フェスティバルを行っています。父母と先生の会(P T A)の方々や先生、6年生が企画を考え、全校児童が楽しむ行事です。

今年度はコロナ禍でもできるタブレットを使ってのクイズや、たたみコースター作りを新しく計画し、活動することができました。6年生が学校に関するクイズを考

え、「グーグルフォーム」で問題を作成しました。クイズはフェス当日、自分のタブレットから回答することで、全員がクイズに参加することができ、達成感を味わうことができました。

今までは、フェスに参加するだけでしたが、企画に関わり準備などの協力をするようになってきました。

これからも東石川フェスティバルは、新しい生活様式を取り入れて、さまざまな工夫をし、みんなと協力しながら続いてほしいです。

(6年 喜多歩歩)

保護者の活動

東石川フェスティバルで、児童のたたみコースター作りをサポートする「父母と先生の会」役員。2021年10月30日



学校づくりをサポート



東石川小学校は創立81年目を迎え、3度の学区変更を行いながら地域の成長と共に歴史を刻み、地域の中心地に立地している小学校です。

現在、コロナ禍により例年のような活動はできておりませんが、それでも今だからこそできることを考えながら活動してきました。その中でも、新たな試みとして会議をリモートにて行いました。学校も「G I G Aスクール構想」でICT活用を推進していきたいと思っています。

いまだに続くコロナ禍での学校生活、父母と先生の会(P T A)活動ですが、できないことを嘆くより、「一日一生」今できることに最善を尽くすことが大切であると考えています。これからも、子どものために地域に誇れる、地域が誇れる学校づくりを全面的にバックアップしていきます。

(父母と先生の会会長 塙和俊次)

芸術文化活動

陣太鼓演奏で一体感



東石川陣太鼓を披露する5、6年生

「東石川陣太鼓」は1997(平成9)年度に発足し、24年目になります。5、6年生の希望者が参加し、春と秋の期間に毎日30分早く学校に登校して朝練習を重ねて曲を仕上げ、演奏活動を行ってきました。

地域の指導者の方で、あいさつの仕方や礼儀も教わりながら、3曲演奏できるようになりました。「初っ切り」「やんざ太鼓」「正直・礼儀・親切」です。「正直・礼儀・親切」は校訓を曲にしました。

メンバー全員で演奏すると、一体感が生まれ、とても楽しいです。そして、聞いてくれる人がとても喜んでくれるので、うれしい気持ちになり、もっと練習をがんばろうというやる気も出てきます。

これからも、東石川陣太鼓の伝統を引き継ぎ、地域のみなさんを楽ませたいと思います。

(6年 日登友悠)

次回は3月18日 取手市立藤代中学校です